

学校関連施設

施設概要

◇各小中学校の調理場及び共同調理場

学校給食の調理場として整備されています。

◇旧小野中学校

平成7年度に学校施設として整備されましたが、平成28年度の旧厚東中学校との統合により廃校となり、現在は地域活性化のための活用が試験的に図られています。

◇旧岬小学校養護つくし園分室

昭和49年度に学校施設として整備されましたが、平成16年度に閉級し、その後用途廃止しています。

令和2年4月1日現在の施設概要

施設名称	地区	建築年度	築年数	構造	耐震化		延床面積 (㎡)	運営	防災 施設
					診断	改修			
見初小学校（給食調理室）	見初	昭和56年度	38年	R C	不要	不要	189.60	直	非該当
上宇部小学校（給食調理室）	上宇部	昭和59年度	35年	R C	不要	不要	240.00	直	非該当
神原小学校（給食調理室）	神原	昭和39年度	55年	C B	未	未	182.07	直	非該当
原小学校（給食調理室）	原	昭和55年度	39年	R C	未	未	199.68	直	非該当
厚東小学校（給食調理室）	厚東	昭和55年度	39年	R C	未	未	100.16	直	非該当
小羽山小学校（給食調理室）	小羽山	昭和55年度	39年	R C	済	不要	211.20	直	非該当
常盤小学校（給食調理室）	常盤	昭和52年度	42年	R C	済	不要	202.86	直	非該当
川上小学校（給食調理室）	川上	昭和63年度	31年	R C	不要	不要	195.00	直	非該当
西宇部小学校（給食調理室）	西宇部	昭和55年度	39年	R C	済	不要	201.55	直	非該当
万倉小学校（給食調理室）	万倉	平成8年度	23年	R C	不要	不要	151.94	直	非該当
旧小野中学校	小野	平成7年度	24年	R C	不要	不要	2,440.29	直	非該当
旧岬小学校養護つくし園分室	上宇部	昭和49年度	45年	R C	未	未	340.34	直	非該当
西岐波学校給食共同調理場	西岐波	平成20年度	11年	S	不要	不要	1,111.76	直	非該当
琴芝学校給食共同調理場	琴芝	平成7年度	24年	R C	不要	不要	307.50	直	非該当
二俣瀬学校給食共同調理場	二俣瀬	平成11年度	20年	S	不要	不要	295.80	直	非該当
厚南学校給食共同調理場	厚南	平成12年度	19年	R C	不要	不要	884.28	直	非該当
学校給食センター	川上	平成26年度	5年	S	不要	不要	2,587.14	直	非該当

※RC…鉄筋コンクリート造、S…鉄骨造、CB…コンクリートブロック造、W…木造

【備考】

- ・建築年度、築年数、構造、耐震化は、主たる建物の状況を記載しています。
- ・耐震化について、昭和57年以降の建築物（新耐震基準）、耐震診断により新耐震基準を満たしていることが判明した建築物は、「不要」と記載しています。
- ・運営について、直営は「直」、指定管理は「指」、委託（指定管理を除く。）は「委」と記載しています。
- ・防災施設について、災害時に避難所、緊急避難場所、防災拠点として使用される施設は、「該当」と記載しています。

施設評価及び今後の方向性

担当課	1次評価（定量評価）					2次評価（定性評価）					
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
学校給食課	-	-	-	A	4点	0点					
見初小学校 (給食調理室)	評価結果の分析					評価結果の分析					
	昭和56年度に建築され、新耐震基準を満たしており、今後も必要な修繕を適切に実施し、長寿命化を図り、安全を確保していく。					学校給食は教育の一環であり、安心安全な学校給食を提供するため、当該建物の必要性は高く、民間事業者等への移管は困難であるため、引続き機能を維持する。					
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性					建物の方向性					
	現状維持					長寿命化改修					
	スケジュール										対策費（千円）
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	27,022
	説 明										
	昭和56年度に建築された築後38年が経過する耐震性を有する調理場である。概ね築45年経過する時期を目途に、施設の劣化状況等を総合的に判断し、長寿命化改修を行う。										

担当課	1次評価（定量評価）					2次評価（定性評価）					
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
学校給食課	-	-	-	A	4点	0点					
上宇部小学校 (給食調理室)	評価結果の分析					評価結果の分析					
	昭和59年度に建築され、新耐震基準を満たしており、今後も必要な修繕を適切に実施し、長寿命化を図り、安全を確保していく。					学校給食は教育の一環であり、安心安全な学校給食を提供するため、当該建物の必要性は高く、民間事業者等への移管は困難であるため、引続き機能を維持する。					
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性					建物の方向性					
	現状維持					現状維持					
	スケジュール										対策費（千円）
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	0
	説 明										
	昭和59年度に建設された築後34年が経過する耐震性を有する調理場である。日常的補修を適宜実施し、現状を維持していく。										

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
学校給食課	—	—	—	C	4点	1点					
	評価結果の分析				評価結果の分析						
神原小学校 (給食調理室)	昭和39年度に建築され、築50年以上の建物で耐震性が無い可能性が有り、老朽化が進み危険である。特に外壁については、早期の改修が必要である。				学校給食は教育の一環であり、当該建物の必要性は高いものの、老朽化が進み危険であることから、安心安全な学校給食を提供するため、共同調理場への集約化を検討する。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	集約化				耐震診断						
	スケジュール								対策費（千円）		
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	3,000
説明											
施設の老朽化に伴い、他の調理場との集約化を検討する。 集約化までは機能維持が必要なことから、耐震診断を先行して実施する。											

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
学校給食課	—	—	—	A	4点	0点					
	評価結果の分析				評価結果の分析						
原小学校 (給食調理室)	昭和55年度に建築され、新耐震基準を満たしていない可能性が有り、耐震診断を実施し、施設改修を行いながら、長寿命化を図り、安全を確保していく。				学校給食は教育の一環であり、安心安全な学校給食を提供するため、当該建物の必要性は高く、民間事業者等への移管は困難であるため、引続き機能を維持する。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	現状維持				耐震診断、長寿命化改修						
	スケジュール								対策費（千円）		
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	31,458
説明											
昭和55年度に建設された築後39年が経過する耐震性のない可能性がある調理場である。耐震診断を先行して実施し、概ね築45年経過する時期を目途に、施設の劣化状況等を総合的に判断し、長寿命化改修を行う。											

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
学校給食課	—	—	—	A	4点	1点					
	評価結果の分析				評価結果の分析						
厚東小学校 (給食調理室)	昭和55年度に建築され、新耐震基準を満たしていない可能性が有るため、耐震診断を実施し、施設改修を行いながら、長寿命化を図り、安全を確保していく。				学校給食は教育の一環であり、当該建物の必要性は高いが、今後の児童数減少の状況によっては、安心安全な学校給食を提供するため、小野小学校と併せての共同調理場への集約化を検討する。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	集約化				耐震診断						
	スケジュール								対策費（千円）		
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	2,500
	説明										
今後の児童数の減少状況等により、小野小学校と併せての共同調理場からの配送校化を検討する。 調理場としての機能維持が必要なことから、耐震診断を先行して実施する。											

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
学校給食課	—	—	—	A	4点	0点					
	評価結果の分析				評価結果の分析						
小羽山小学校 (給食調理室)	昭和55年度に建築され、耐震診断を実施し、耐震性有りとの判定を受けている。今後も必要な修繕を適切に実施し、長寿命化を図り、安全を確保していく。				学校給食は教育の一環であり、安心安全な学校給食を提供するため、当該建物の必要性は高く、民間事業者等への移管は困難であるため、引続き機能を維持する。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	現状維持				長寿命化改修						
	スケジュール								対策費（千円）		
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	30,100
	説明										
昭和55年度に建設された築後38年が経過する耐震性を有する調理場である。 概ね築45年経過する時期を目途に、施設の劣化状況等を総合的に判断し、長寿命化改修を行う。											

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
学校給食課	—	—	—	A	4点	0点					
常盤小学校 (給食調理室)	評価結果の分析				評価結果の分析						
	昭和52年度に建築され、耐震診断を実施し、耐震性有りとの判定を受けている。今後も必要な修繕を適切に実施し、長寿命化を図り、安全を確保していく。				学校給食は教育の一環であり、安心安全な学校給食を提供するため、当該建物の必要性は高く、民間事業者等への移管は困難であるため、引続き機能を維持する。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	現状維持				長寿命化改修						
	スケジュール								対策費（千円）		
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	28,912
	説明										
	昭和52年度に建設された築後41年が経過する耐震性を有する調理場である。概ね築45年経過する時期を目途に、施設の劣化状況等を総合的に判断し、長寿命化改修を行う。										

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
学校給食課	—	—	—	A	4点	0点					
川上小学校 (給食調理室)	評価結果の分析				評価結果の分析						
	昭和63年度に建築され、新耐震基準を満たしており、今後も必要な修繕を適切に実施し、長寿命化を図り、安全を確保していく。				学校給食は教育の一環であり、安心安全な学校給食を提供するため、当該建物の必要性は高く、民間事業者等への移管は困難であるため、引続き機能を維持する。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	現状維持				現状維持						
	スケジュール								対策費（千円）		
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	0
	説明										
	昭和63年度に建設された築後30年が経過する耐震性を有する調理場である。日常的補修を適宜実施し、現状を維持していく。										

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
学校給食課	—	—	—	A	4点	0点					
西宇部小学校 (給食調理室)	評価結果の分析				評価結果の分析						
	昭和55年度に建築され、耐震診断を実施し、耐震性有りとの判定を受けている。今後も必要な修繕を適切に実施し、長寿命化を図り、安全を確保していく。				学校給食は教育の一環であり、安心安全な学校給食を提供するため、当該建物の必要性は高く、民間事業者等への移管は困難であるため、引続き機能を維持する。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	現状維持				長寿命化改修						
	スケジュール								対策費（千円）		
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	28,725
	説明										
	昭和55年度に建設された築後38年が経過する耐震性を有する調理場である。概ね築45年経過する時期を目途に、施設の劣化状況等を総合的に判断し、長寿命化改修を行う。										

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
学校給食課	—	—	—	A	4点	0点					
万倉小学校 (給食調理室)	評価結果の分析				評価結果の分析						
	平成8年度に建築され、新耐震基準を満たしており、今後も必要な修繕を適切に実施し、長寿命化を図り、安全を確保していく。				学校給食は教育の一環であり、安心安全な学校給食を提供するため、当該建物の必要性は高く、民間事業者等への移管は困難であるため、引続き機能を維持する。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	現状維持				現状維持						
	スケジュール								対策費（千円）		
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	0
	説明										
	平成8年度に建設された築後22年が経過する耐震性を有する調理場である。日常的補修を適宜実施し、現状を維持していく。										

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
施設課	—	—	—	A	0点	1点					
旧小野中学校	評価結果の分析				評価結果の分析						
	平成7年度に学校施設として整備されたが平成28年度から旧厚東中学校と統合したことにより廃校となっている。新耐震基準を満たし建物性能は高い。				学校施設としての用途、機能は廃止している。新耐震基準を満たし建物性能は高いため、地元産業での活用や地域住民による利用など、学校施設以外の目的での利活用を検討する。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	現状維持				現状維持						
	スケジュール										
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	0
	説明										
	平成7年度に学校施設として整備されたが、平成28年度から、旧厚東中学校と統合したことにより廃校となっている。新耐震基準を満たした施設であるため、日常的な補修を実施するとともに、地元産業での活用や、地域住民による利用など、学校施設目的以外の利用を引き続き検討していく。										

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
施設課	—	—	—	C	0点	0点					
旧岬小学校 養護つくし園分室	評価結果の分析				評価結果の分析						
	昭和49年度に学校施設として整備されたが、平成16年度に閉級し、その後用途廃止している。				学校施設としての用途、機能は廃止している。土地の所管課において建物付きでの売却を検討している。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	廃止				売却						
	スケジュール										
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	0
	説明										
	昭和49年度に学校施設として整備されたが、平成16年度に閉級し、その後用途廃止している。建物付きで土地の売却を検討している。										

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
学校給食課	—	—	—	A	4点	0点					
	評価結果の分析				評価結果の分析						
西岐波 学校給食共同調理場	平成20年度に建築され新耐震基準を満たしており、今後も必要な修繕を適切に実施し、長寿命化を図り、安全を確保していく。				学校給食は教育の一環であり、安心安全な学校給食を提供するため、当該施設の必要性は高く、民間事業者等への移管は困難であるため、引続き機能を維持する。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	現状維持				現状維持						
	スケジュール								対策費（千円）		
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	0
	説明										
	平成20年度に建設された築後10年が経過する耐震性のある調理場である。 日常的補修を適宜実施し、現状を維持していく。										

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
学校給食課	—	—	—	A	4点	0点					
	評価結果の分析				評価結果の分析						
琴芝 学校給食共同調理場	平成7年度に建築され新耐震基準を満たしており、今後も必要な修繕を適切に実施し、長寿命化を図り、安全を確保していく。				学校給食は教育の一環であり、安心安全な学校給食を提供するため、当該施設の必要性は高く、民間事業者等への移管は困難であるため、引続き機能を維持する。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	現状維持				現状維持						
	スケジュール								対策費（千円）		
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	0
	説明										
	平成7年度に建設された築後23年が経過する耐震性を有する調理場である。 日常的補修を適宜実施し、現状を維持していく。										

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
学校給食課	—	—	—	A	4点	0点					
	評価結果の分析				評価結果の分析						
二俣瀬 学校給食共同調理場	平成11年度に建築され、新耐震基準を満たしており、今後も必要な修繕を適切に実施し、長寿命化を図り、安全を確保していく。				学校給食は教育の一環であり、安心安全な学校給食を提供するため、当該施設の必要性は高く、民間事業者等への移管は困難であるため、引続き機能を維持する。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	現状維持				現状維持						
	スケジュール							対策費（千円）			
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	0
	説明										
平成11年度に建設された築後19年が経過する耐震性を有する調理場である。 日常的補修を適宜実施し、現状を維持していく。											

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
学校給食課	—	—	—	A	4点	0点					
	評価結果の分析				評価結果の分析						
厚南 学校給食共同調理場	平成12年度に建築され、新耐震基準を満たしており、今後も必要な修繕を適切に実施し、長寿命化を図り、安全を確保していく。				学校給食は教育の一環であり、安心安全な学校給食を提供するため、当該施設の必要性は高く、民間事業者等への移管は困難であるため、引続き機能を維持する。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	現状維持				現状維持						
	スケジュール							対策費（千円）			
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	0
	説明										
平成12年度に建設された築後18年が経過する耐震性のある調理場である。 日常的補修を適宜実施し、現状を維持していく。											

担当課	1次評価（定量評価）				2次評価（定性評価）						
施設名称	ソフトの評価			ハードの評価 建物性能	施策上等の必要性	代替の可能性					
	利用状況	経費効率	(利用)+(経費)								
学校給食課	—	—	—	A	4点	0点					
	評価結果の分析				評価結果の分析						
学校給食センター	平成26年度年に建築され、新耐震基準を満たしており、今後も必要な修繕を適切に実施し、長寿命化を図り、安全を確保していく。				学校給食は教育の一環であり、安心安全な学校給食を提供するため、当該施設の必要性は高く、民間事業者等への移管は困難であるため、引続き機能を維持する。						
	今後の方向性（R2～R11）										
	機能の方向性				建物の方向性						
	現状維持				現状維持						
	スケジュール						対策費（千円）				
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	0
	説明										
平成26年度に建設された築後4年が経過する耐震性のある調理場である。 日常的補修を適宜実施し、現状を維持していく。											